

全国農村計画講座 20231125～26  
いいで農村未来研究所 第2回まちむらづくり塾

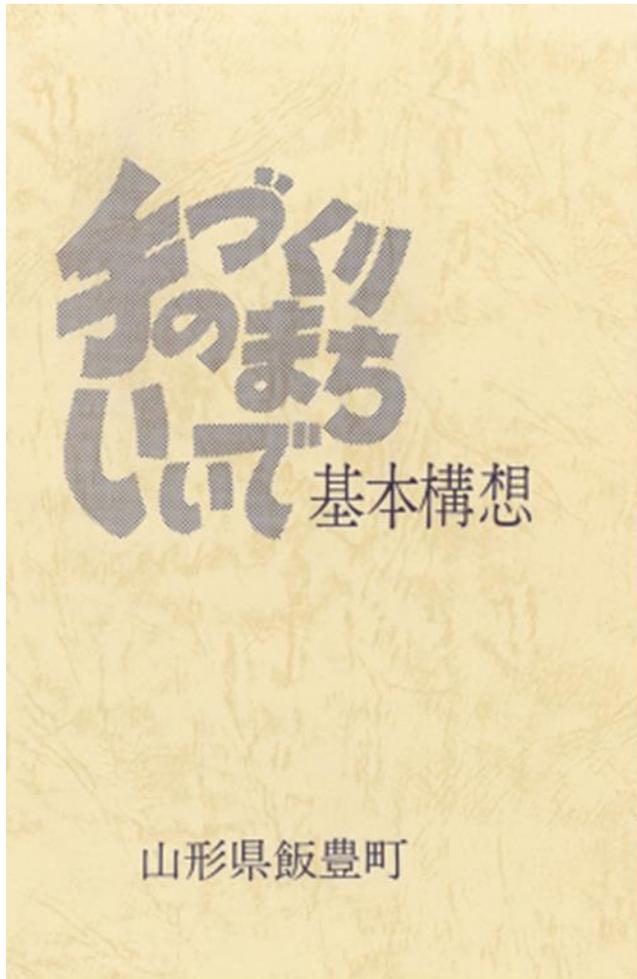
地球温暖化・異常気象に  
農村はどう対応したらよいか  
～気候変動緩和への貢献、災害への対応～

開催趣旨説明

糸長浩司

いいで農村未来研究所 所長  
NPO法人エコロジー・アーキスケープ 理事長  
元日本大学教授  
農村計画学会元副会長・名誉会員

# 飯豊町の農村計画 半世紀を超える住民参加によるむらまちづくりの歴史



1974年 第一次飯豊町総合計画 120人委員会（住民参加のまちづくり始動）  
1990年代 飯豊農村計画研究所による農村計画講座  
2012年 農村計画学会むらづくり最優秀賞 青木志郎教授、後藤幸平町長

# 農村計画研究所の再興

いいで農村未来研究所

2022年7月～

## 飯豊町立 いいで農村未来研究所

機能

### 教育

- ・まちむらづくり塾
- ・人づくり
- ・町民ニーズへの対応
- ・農村の意義と魅力の発信
- ・農村現場実践的学び
- ・農村SDGsの学び（子どもから）

### 研究

- ・農村計画アーカイブ
- ・農村計画の実践知の発信と交流
- ・調査研究の実施
- ・研究所年報の発信

### コンサルティング

- ・地区別計画の推進支援
- ・SDGs総合計画推進支援
- ・まちづくりカフェ
- ・農村資源を生かしたもの・エネルギーづくり助言

### 目指すもの

★飯豊町における住民参画のまちむらづくりの歴史を継承し、農村の価値を未来につなげるために、まちむらづくりの担い手を育成する。

★飯豊町の環境・社会・経済の3側面からの発展に貢献し、広く町外の人々や研究者との交流を促進する。

★地球環境危機の課題を抱える今、農村での自然と共生・共存した暮らし、農村資源の持続的な管理と活用による魅力的な暮らしの知恵と実践を発信する。

★農村の伝統的な知恵を再考・再興・活用し、さらに新しい課題に関する知と実践手法について学び考え、実践していく機会を提供する。

運営方針

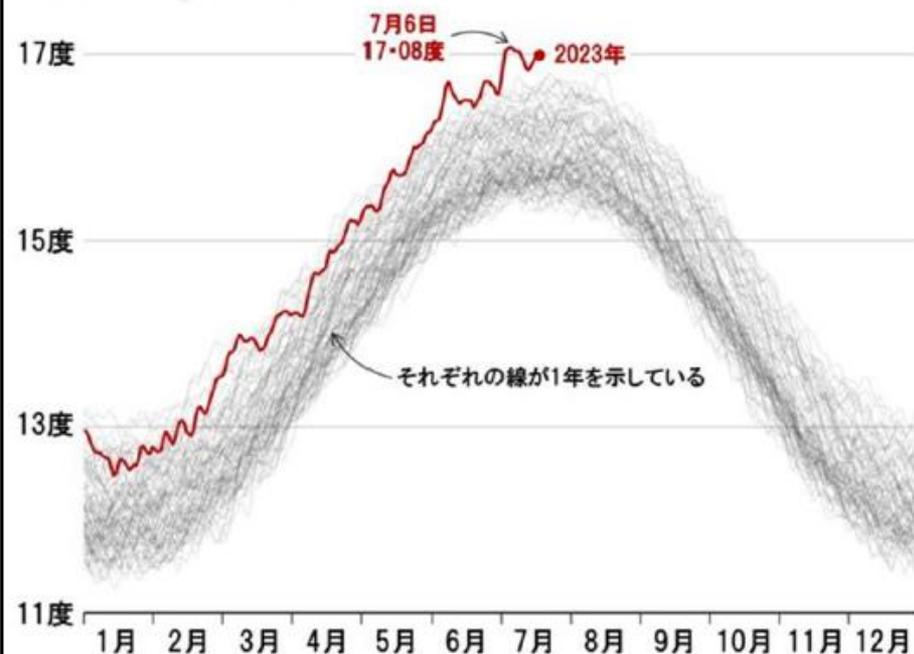
- ◆組織の趣旨に賛同する多くの町民、町外市民との協働で活動する。
- ◆多様な情報の欲しい人、まちづくり相談をしたい人が自由に集える場づくりをする。
- ◆環境問題、農村計画や地域デザインのための資料が収蔵され誰でも利用できる。
- ◆各分野の専門的なアドバイザーがいる。

# 1. 地球気候戦争、地球温暖化と生物多様性危機

## ★2022年8月 飯豊町豪雨災害（線状降水帯）

### 世界の平均気温が最高を更新

1940～2023年の毎日の平均気温



注:2023年7月19日の気温は暫定

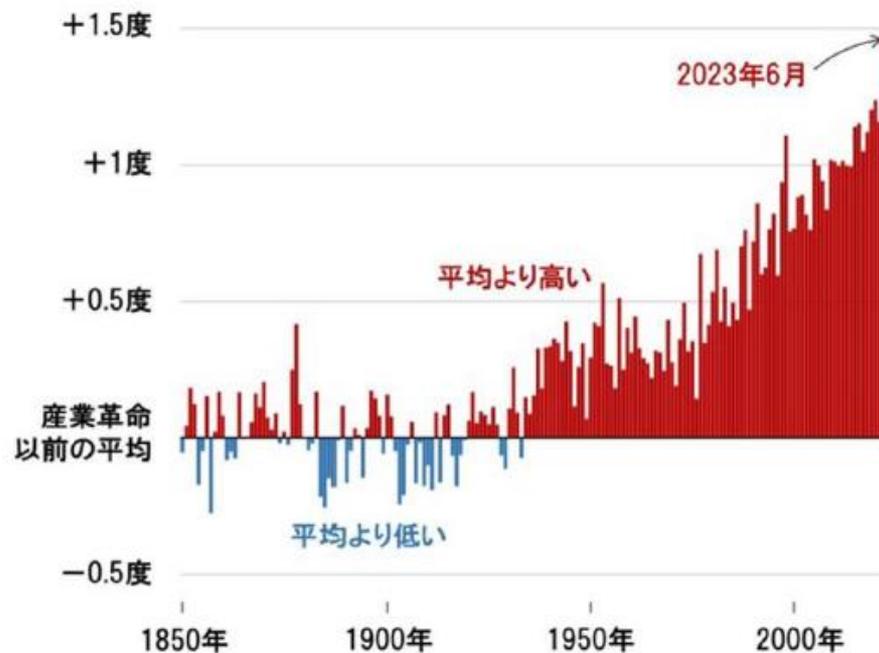
出典:欧州連合コペルニクス気候変動サービス、ヨーロッパ中期予報センター

BBC

### 今年の6月は史上最も暑かった

世界の6月の平均気温の推移と

産業革命以前(1850～1900年)の6月の平均気温の比較



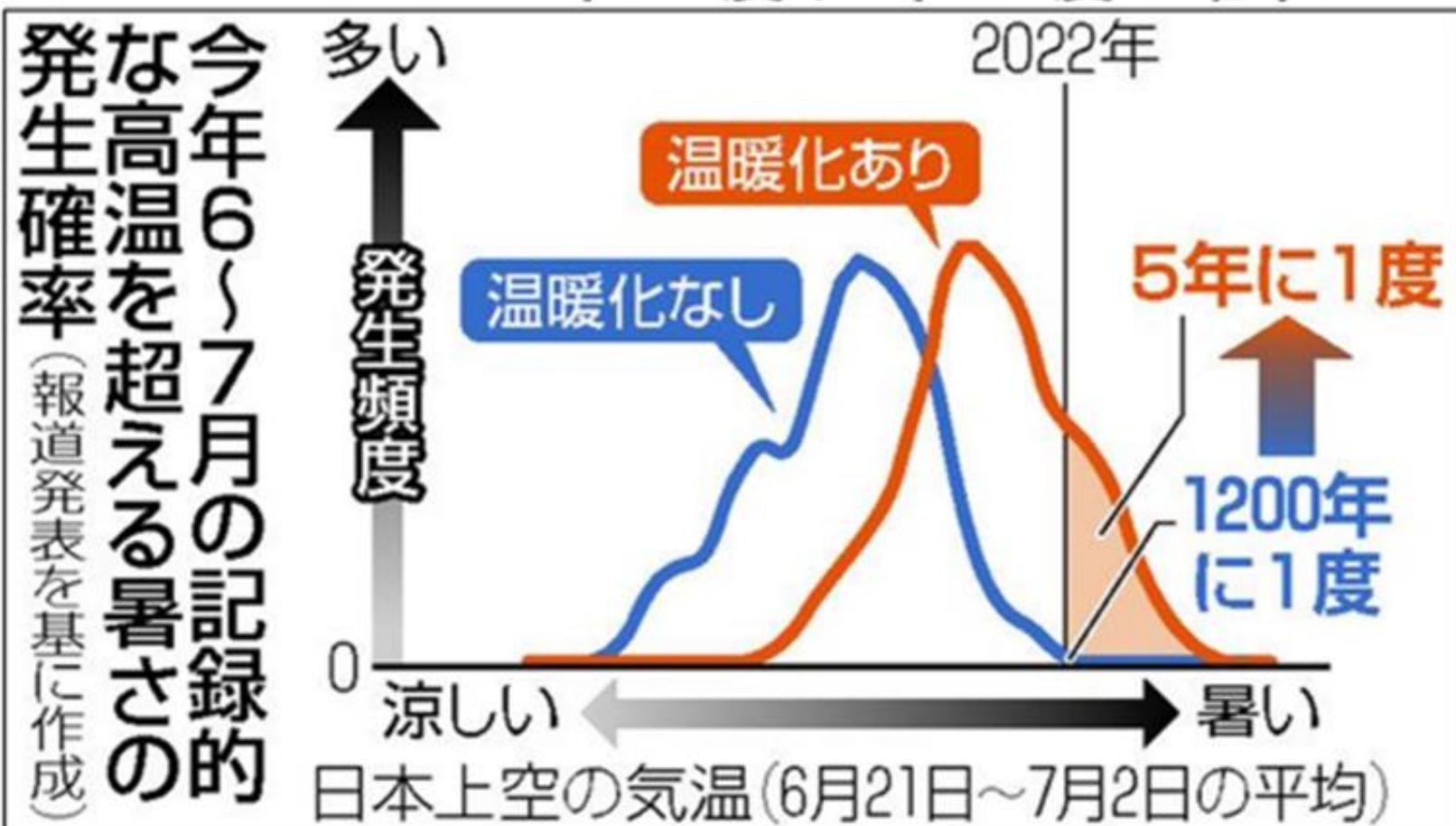
出典:パークリー・アース

BBC

2023年7月23 BBCジャパン 「地球は未知の領域に」

<https://www.bbc.com/japanese/features-and-analysis-66253356>

1200年に1度→5年に1度の確率に



東京新聞 20220924 朝刊

文部科学省や気象庁気象研究所

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/204314>

itonagakoji@outlook.jp

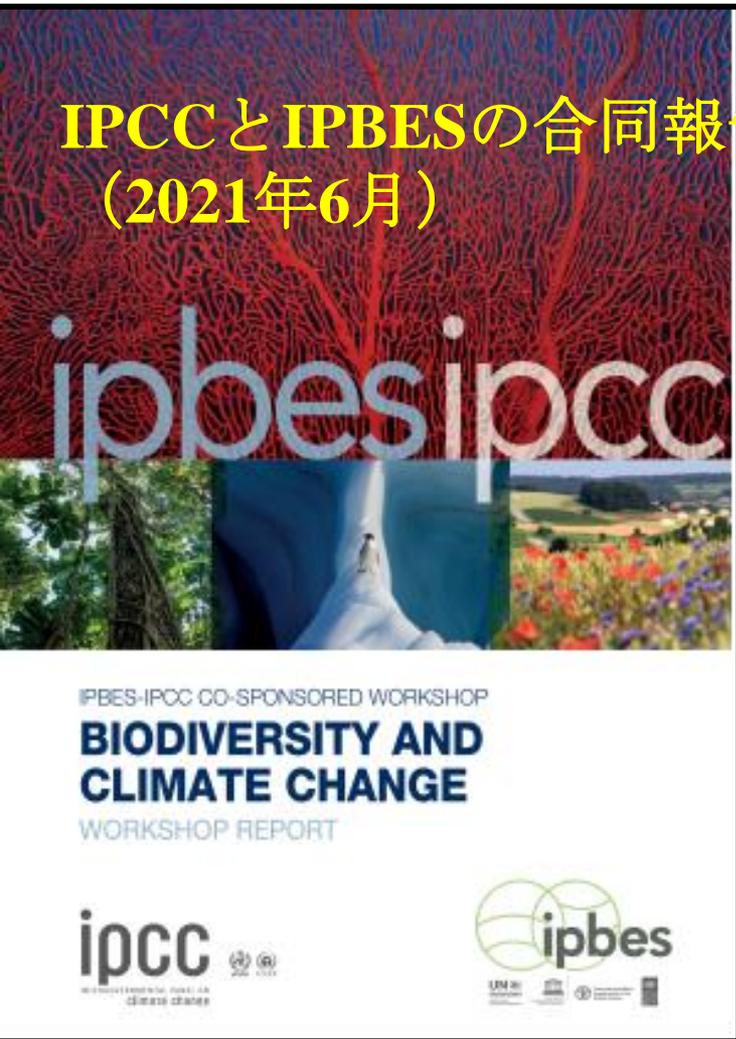
# 小流域での災害・被害 小白川流域

★ 被災状況 2022年9月2日撮影  
ドローン写真は飯豊町役場企画課川村俊貴さん。



# 気候と生物多様性の多重危機

IPCCとIPBESの合同報告書  
(2021年6月)



地球温暖化制御と生物多様性保護は相互依存し同時達成必要

- 気候変動の制御に失敗 → 地球上の生態系と人類の社会生態系はより劣化
- 気候変動への適用能力  
→ 陸と海での気候緩和・適応 + 生物多様性保全の両面戦略  
NbS、グリーンインフラ推進推奨  
→ 30by30、ネイチャーポジティブ
- 気候変動緩和・適応の単独対策による自然への悪影響を心配  
→ むやみなバイオエネルギー開発、気候工学的対策、メガソーラー開発への警鐘？ 原発推進への警鐘？  
→ 技術革新とグリーン経済主導の「新気候体制」への警告？

★小規模で局所的な対策の積み重ね、地域を基盤とした複合的な対策を推奨し、食生活の見直し、食料廃棄物の削減等のライフスタイル変革  
★人間の自然への働きかけの変革が共通の解決策

生き残り？  
公平・分配  
社会経済変革

貧富拡大  
南北格差  
智の西洋化  
都市スラム

人間の世界  
自然概念の創造  
科学技術対象としての  
地球

人類非常事態

地球との関係性の  
再発見・再創造

生態系破壊  
自然の物質代謝の亀裂  
パンデミック  
生態系サービス限界  
温暖化・海面上昇  
気候非常事態  
台風・豪雨・洪水

やりたい放題  
無限の開発  
無限の欲望  
無限の収奪  
科学技術の暴走  
巨大都市  
資本の加速暴走  
人新世  
資本新生  
生物圏 < 技術圏

地震  
大陸移動



地球

人類を「地球に降り立たせる  
(Down to earth)」  
ブルーノ・ラトウール  
「テレストリアル」(生命圏・地上・クリティカルゾーン・地球)への再依存

©KOJI ITONAGA

## 2. 環境権、自然権を尊重し、SDGsからSEGsへ

©KOJI ITONAGA

- ・自然は驚異を人間にもたらすが、多くの恵みをもたらす。
  - ・自然無しでは生きられない
  - ・身近な自然を恐れ、敬い、
  - ・身近な自然をよく観察し、理解し、
  - ・身近な自然を活用しつづける暮らし、生業（農林業）づくり
  - ・長い自然との葛藤、付き合い、改変で創造された農村の自然＝二次的自然を大切に維持しつづける
- ★再度、自然との関係性の再構築こそ農村の役割

★2022年国連総会全体会議「清潔で健康的かつ持続可能な環境への権利」環境権、自然権（自然に回復の権利、エクアドルの憲法）

★鳥獣被害は、自然のバランス（森のバランス）の崩れ

★自然も再興（ネイチャーポジティブ）し、人間社会も再興へ

★自然からの水・食料・エネルギーの持続的安定的供給

★SDGsからSEGs（持続可能な環境目標）へ発展

### 3. 農村地域（農村都市連携地域）からのアクション

#### 世界の動向

#### ★ミュニシパリズム（地方自治主義）運動

公共圏（水・食料・エネルギー等）を地域市民や  
地方自治体を取り戻す

#### ★トランジションタウン運動

地域のレジリエンス力（復元力）の向上、  
エネルギー・建築・食を地産地消する市民と行政の  
自立共生運動、

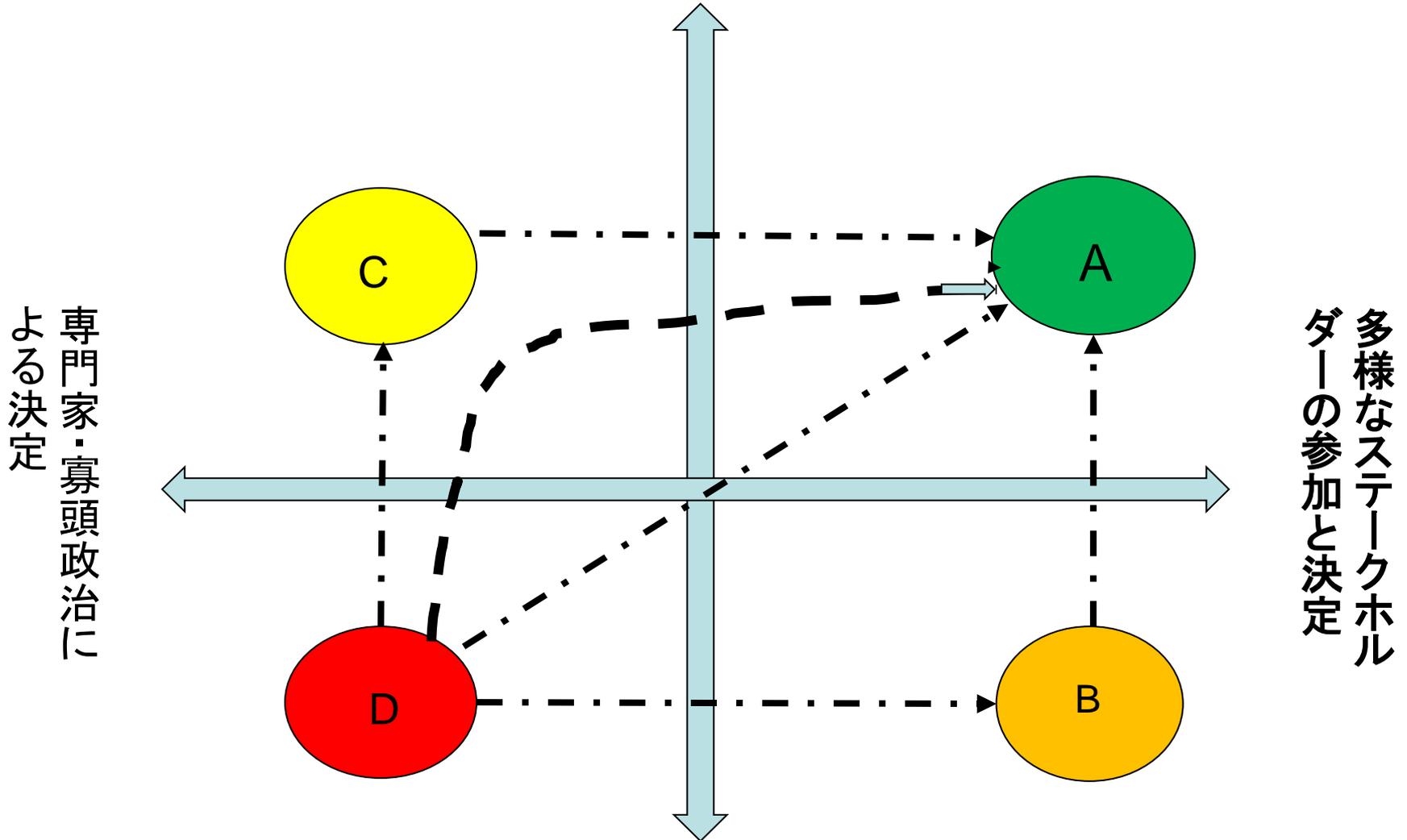
「トランジションタウン」運動が英国から世界へ

#### ★脱経済成長による再ローカリゼーション、

社会連帯経済、労働者協同組合(2020年日本も法制化)

#### ★グローバル経済からの地域経済社会の防衛と発展

ローカル・地域での多元的な価値による  
社会・経済・環境・政治の成熟



グローバルな社会・経済・環境・政治への一元価値によるコントロールの強化、徹底化

# 地球温暖化・異常気象に農村はどう対応したらよいか ～気候変動緩和への貢献、災害への対応～

**第1講座** ネイチャーポジティブ(自然再興)に向けた農村の役割  
上村真仁 筑紫女学園大学現代社会学部教授

**第2講座** 地域共創活動によるスマートテロワール(循環型農村経済圏)の構築を目指して  
浦川修司 山形大学農学部教授

**第3講座** 地域でエネルギーを自給すれば、エネルギーは安くなって、  
お金は地域で回る  
三浦秀一 東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授

**第4講座** バイogas発電  
後藤博信 東北おひさま発電株式会社代表取締役社長  
(昼食休憩)

**事例報告** 鳥取県日南町／森林資源を活用した新たな循環型林業の創造  
～中山間地域の価値を創造するSDGsのまちづくり～  
荒金太郎 日南町自立改革推進本部主幹

**討論** 農村地域に期待される地球温暖化への具体的な対応～

**まとめ** 井原満明(研究所運営委員)